

モニタリング結果報告書

施設 相模湖漕艇場

指定管理者 特定非営利活動法人神奈川県ボート協会

施設所管課 スポーツ課

(平成 21 年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月13日	5月29日	適正に行われていると認められる。
5月	6月9日	6月24日	適正に行われていると認められる。
6月	7月8日	7月31日	適正に行われていると認められる。
7月	8月11日	8月27日	適正に行われていると認められる。
8月	9月10日	9月29日	適正に行われていると認められる。
9月	10月13日	10月23日	適正に行われていると認められる。

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る **B: 提案どおり** C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

シーズン中(春・夏期)の漕艇場の無休化及び開場時間の拡大を実施する。

<実施状況>

利用促進のため、4月1日から9月30日までは原則無休とし、開場時間についても利用者の要望及び安全を考慮し、シーズンに応じた開場時間の拡大を図った。

【開場日】

4月1日(水)～9月30日(水) 8月1日(土)以外無休
(8月1日は相模湖花火大会のため休場)

【開場時間】

4月1日(水)～9月13日(日) 6時30分～19時30分
(5月2日(土)～6日(水) 6時30分～12時00分)
9月14日(月)～9月30日(水) 6時30分～18時00分

<提案内容の概要>

艇庫保管艇の無料メンテナンスサービスを実施する。

<実施状況>

4月: 保管依頼艇他、艇庫に保管されている艇の修理サービスを実施した。
5月: 杏林大の艇他、艇庫に保管されている艇の修理サービスを実施した。
6月: 艇庫に保管されている艇の修理サービスを実施した。
7月: 杏林大、北里大の艇他、艇庫に保管されている艇の修理サービスを実施した。
8月: 北里大の艇他、艇庫に保管されている艇の修理サービスを実施した。
9月: 杏林大の艇他、艇庫に保管されている艇の修理サービスを実施した。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月 料金額)	その他収入		
年間予算額	21,604	19,823	1,781	21,604	0
上半期計 (a)	11,472	10,388	1,084 (-)	8,841	2,631
下半期計 (b)			(-)		
4月	2,177	2,109	68 (-)	1,755	422
5月	1,822	1,715	107 (-)	1,513	309
6月	1,851	1,594	257 (-)	1,389	462
7月	1,772	1,567	205 (-)	1,399	373
8月	1,985	1,694	291 (-)	1,313	672
9月	1,865	1,709	156 (-)	1,472	393
合計 (a+b)					

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

需要費（消耗品費、印刷製本費、光熱水費）、委託費を節減したことにより、支出が予算で見込んでいた額より抑制できた。

（今期に行った資本的な収入及び支出の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	13,275	8,852 人	50.0%
下半期計 (b)		人	
4月	997 人	897 人	11.1%
5月	1,803 人	1,232 人	46.3%
6月	2,444 人	1,955 人	25.0%
7月	2,356 人	1,664 人	41.6%
8月	3,349 人	1,106 人	202.8%
9月	2,326 人	1,998 人	16.4%
合計 (a+b)	人	人	

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

上半期に漕艇場を無休としたことが利用者数の増加の要因と考えられる。また、8月には大きな大会が催されたため、前年度と比較すると利用者数が大幅な増加をしている。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	0	0	0
8月	0	0	0
9月	0	0	0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者へ評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

特になし。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

特になし。

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

未実施。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>4月から始まった指定管理業務であるが、職員も利用者への対応に慣れてきた様子である。また、職員の船舶免許取得により、非常時の利用者に対する安全は確保できる体制が整ったと思われる。さらに、利用者からの艇の修繕依頼等への対応、シーズン中の無休化、開場時間の拡大、刊行物等の作製や相模原市との共催によるポート教室の実施により利用者への利便性に配慮した。</p>
施設所管課	<p>本年度から指定管理者が代わり、シーズン中の無休化や開館時間の拡大等利用者ニーズに応え利用促進を図ったことにより、昨年度同期と比較して利用者数が飛躍的に増加しており、それに応じて収入額も増加している。また、きめ細かい職員の配慮により、利用者との良好な関係性が窺える。</p> <p>利用者が例年少ない下半期（特に冬場）も新指定管理者ならではの取組み等により、利用者数及び利用料金収入額が増加することを期待したい。</p>